

海外生活 エッセー

ソウル事務所

在韓日本人と韓国を繋ぐ、 SJC (ソウルジャパンクラブ)

(一財)自治体国際化協会ソウル事務所 所長補佐 池之上 祐太 (鹿児島県派遣)

→ SJC とは?

ソウルジャパンクラブ (SJC) は、一言でいうならば、韓国に住んでいる日本人の韓国での生活をより快適なものにするための組織です。スポーツ大会を通じた在韓日本人同士の交流イベントの企画や、セミナーや会報、ホームページを通じた生活情報の発信、日本人と韓国人が友好を深められるような交流イベントの実施など、年間を通して幅広い活動を行っています。

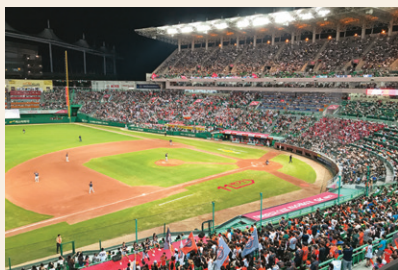
また、日本人会に日本商工会などが統合して設立された沿革から、手厚い法人活動のサポートも行っています。

韓国は言わずと知れた隣国であり、今や6万人を超える日本人が生活しています (2017年10月1日現在の在留邦人および長期滞在者数)。そういった環境におけるSJCの取り組みは、世界の日本人会組織の中にあっても、特異なものと言えるのではないのでしょうか。

→ 教養文化委員会での活動

SJCの中には、社会貢献や安全対策、レクリエーションなど、さまざまな分野の委員会が存在し、分野ごとに日本人の韓国生活をより充実させる取り組みが行われています。私は2017年度、その中でも特に文化的要素の強い「教養文化委員会」で1年間委員として活動しましたが、ソウル市内の歴史遺産を巡るツアーや韓国プ

ロ野球観戦、著名人による韓国社会や文化に関する講演、日韓カラオケ交流大会と実に多彩な活動を行いました。中でもプロ



2017年プロ野球観戦ツアー

野球観戦では運良く、現在、韓国のチームで監督を務めているトレイ・ヒルマン氏 (元 NPB・日本ハムファイターズ監督) と交流する企画を持つことができ、子どもたちにも大変喜んでもらったところです。

2017年度の教養文化委員会の活動の中でも、特に目を惹いたのは「日韓カラオケ大会」でした。今回で15回目となるこのイベントは、日本人は韓国語の歌を、韓国人は日本語の歌を歌って賞を競うもので、例年、多くの方に参加いただいている人気イベントです。今回は日韓合わせて100組を超える応募があり、その中から予選を勝ち抜いた23組が本選に出場しましたが、美声あり、ダンスあり、笑いありの楽しい公演となりました。日韓それぞれの国の歌を歌うことでお互いの文化や情緒、異なる価値観にふれ、交流に発展していき。歌を通して草の根交流がはじまる瞬間を目の当たりにした、大変印象的なイベントでした。



2017年日韓カラオケ大会

→ 日韓交流の架け橋

韓国は、日本にとっては隣国であり、好き嫌いはともかくとして、これからも継続して関わっていかねばならない国です。そういった、経済的にも文化的にも密接な関係にある韓国で、在韓日本人と韓国の人・生活・文化とを繋ぐ大切な役割を担っているのがSJCです。SJCのさまざまな取り組みが、在韓日本人の韓国における生活支援の枠を超えて、今後の新しい時代における日韓交流の架け橋となっていくのではないのでしょうか。